

令和4(2022)年度

事業計画書並びに
収支予算書

公益目的事業1

駿府博物館の展覧会事業及び芸術文化の普及事業

A. 展覧会事業

	区分	展覧会名	会期・休館日	入館料	名義(予定)
1	企画展	郷土の画人展	4月23日(土)～ 6月12日(日) 〔44日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 500円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔後援〕 静岡新聞社・静岡放送
2	特別展	柴田ケイコの パンドロぼう原画展(仮)	7月17日(日)～ 9月4日(日) 〔43日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 800円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔共催〕 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会、 焼津市教育委員会、 藤枝市教育委員会
3	特別展	福井利佐 生命の力を 描く切り絵の世界(仮)	10月15日(土)～ 12月11日(日) 〔50日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 800円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔共催〕 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会、 焼津市教育委員会、 藤枝市教育委員会
4	企画展	禅 ダルマさんが 並んだ展	1月7日(土)～ 3月5日(日) 〔50日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 500円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔後援〕 静岡新聞社・静岡放送
5	その他	第46回 蘇峰会静岡県書道展	3月14日(火)～ 3月26日(日) 〔12日間〕 前期:3/14～3/19 後期:3/21～3/26 (休館:3/20 展示替)	無料	〔共催〕 蘇峰会、 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県、 静岡県教育委員会、 静岡市、 静岡市教育委員会、 静岡県書道連盟

B. 芸術文化の普及事業

①講演会、ワークショップ、デモンストレーション、ギャラリートーク

1. 当館学芸員によるギャラリートーク。来館者の方々に駿府博物館の所有するコレクションから選んだ展示品に対する知見を深めてもらうことを目的として行う。ただ、新型コロナウイルス対策の観点から、小人数の来館者からの要望を受けて、学芸員が解説する個別スタイルも行う。
…大々的な開催は1回予定、個別は随時予定
2. 絵本の読み聞かせや柴田ケイコ氏による特別ギャラリートーク …各1回開催予定
3. 福井利佐氏による特別ギャラリートーク、ワークショップ …各1回開催予定
4. 禅寺の住職によるギャラリートーク。禅の解説を通じて、来館者の方々に駿府博物館の所有するコレクションから選んだ禅関連の展示品に対する知見を深めてもらうことを目的として行う。
…1回開催予定

※上記数字は「A. 展覧会事業」に対応。2021年度の時点で決定しているイベント。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会的影響が懸念されるため、その都度様子を見極めつつ実施を検討する。

②広報その他(展覧会事業及び芸術文化の普及事業に関連した印刷物の作成)

展覧会目録の発行

- (1) 7,000部予定(無料配布)
- (2) 20,000部予定(無料配布)
- (3) 20,000部予定(無料配布)
- (4) 7,000部予定(無料配布)
- (5) 500部予定(無料配布) ※蘇峰会作成

※上記1~4は「A. 展覧会事業」に対応。

③短期歴史講座

第19回駿府博物館短期歴史講座

静岡「その時」(全4回予定)

■主催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)

■会場 静岡 新聞放送会館4階会議室(静岡市駿河区登呂3-1-1) 予定

■受講料 一般5,000円、大学生・大学院生3,000円、高校生2,000円
(全4回分、資料代含む)

■募集人数 50名程度

■企画内容 静岡県の歴史を気軽に学ぶのが狙い。「伊豆国(伊豆の国市)の北条義時・政子」、「新居関所から見える江戸時代の東海道」、「三島由紀夫の遺作と旧清水市」など、静岡県の歴史を独自の視点で紹介する。

■開催予定 令和4年9月~10月

公益目的事業2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への支援

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施する。県民の皆さまから寄せられた寄付金で物品等を購入し寄贈する。寄贈先は県内から公募し、有識者による選考委員会で審査の上決定する。

1. 募 金 告 知 年間を通して財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送等で広く呼びかける。
2. 募 金 受 付 年間を通して財団、静岡新聞社・静岡放送東部総局、浜松総局、県内各支局で受け付ける。
3. 支 援 対 象 県内で活動している社会福祉団体・施設や NPO 法人、ボランティア団体等で以下の条件を満たすものとする。
【条件】
 - a. 活動や事業内容が福祉に関するものである事
 - b. 活動期間が1年以上継続されている事
 - c. 過去に「愛の都市訪問」で、寄贈を受けていない、または受けてから5年以上経過している事※個人、反社会的組織や営利団体が母体の団体は対象外とする。
4. 支 援 内 容 支援対象団体が希望する物品(車両・資機材等)を寄贈する。
購入金の補助はしない。
【車両】
 - a. 高齢者や障害者の日常生活支援、施設生産品の配達やスタッフの送迎、社会参加を支援したりするための給食サービスや送迎サービス、家事援助などの事業に要する車両※車両取得にかかる税金、諸費用、オプション装備は、申請施設・団体が負担
※バスや中古車は除く
※一支援の上限金額は350万円とする
【資機材】
 - a. 高齢者や障がい者の就労・生活支援など社会参加を促進するための資機材
 - b. ボランティア活動や福祉活動を推進していく上で必要とする資機材※一支援の上限金額は100万円とする
5. 支 援 先 募 集 財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送を通じて県内から広く公募する。
6. 応 募 方 法 規定の応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添えて財団事務局へ郵送する。
7. 応 募 締 切 9月(予定)
8. 選 考 11月(予定)に学識経験者等で構成する選考委員会で決定する。
9. 通 知 応募者すべてに内定・落選の通知を送付する。
10. 発 表 令和4年12月(予定)に財団 web サイトと静岡新聞紙上で発表する。
11. 寄 贈 令和5年3月(予定)

B. 災害救援活動への助成支援

国内外の大規模災害に対して県内から募金を受け付け、日本赤十字社を通じて、被災者へ募金を送る。

1. 実施の判断
 - a. 日本赤十字社静岡支部に義援金受付窓口が開設される事が確実なこと
 - b. 被害が広域に及んでいるか、激甚災害指定等により、災害規模を勘案する
 - c. 静岡新聞社・静岡放送との共催が決定した時
2. 実施の決定 財団代表理事と相談の上、実地の可否を決定する。
3. 告知 財団webサイト、静岡新聞紙上、静岡放送を通じて募金を呼びかける。
4. 支援方法 募金を取りまとめ日本赤十字社静岡県支部に全額寄付する。
※物資の取り扱いは行わない。

公益目的事業 3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

表彰制度「ふるさと貢献賞」を実施する。

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を顕彰する。

1. 目的 地域生活の模範となる活動を長年にわたり続けている人々を称える事により、明るく住みよい社会作りに資することを目的とする。
2. 表彰対象 長年にわたり他の模範として推奨に値する献身的な活動をしている学校・自治会・個人・団体・企業
【活動例】
 - 施設慰問、介護支援などの福祉活動
 - 公共施設・道路などの美化、清掃、自然保護などの環境保全活動
 - 交通安全、犯罪防止、児童生徒への校外教育・指導などの地域貢献活動
 - 地域社会や公共施設に著しく功績があると認められる活動
 - 国際的な交流による地域活性活動
 - 障がい者の自立支援や自己実現、文化芸術活動などを支える活動
 - 障がい者と健常者が特別な区別なく社会生活や企業活動を共にする活動
3. 募集対象 活動地域が県内であること
居住地、職業、性別は問わない。
※以下に該当する場合は応募できない。
 - a. 当該行為が名誉・金銭・経済的利益を優先するものである場合
 - b. 当該行為が個人または団体の売名・宣伝等を目的とするものである場合
 - c. 過去に本賞を受けている場合
4. 募集告知 4月から財団webサイトや静岡新聞紙上等を通じて県民に呼び掛ける。
また関係機関へ通達する。

5. 応募方法 推薦方式とする。
6. 応募締切 9月下旬(予定)
7. 選考 11月(予定)に学識経験者で構成する選考委員会で審査の上決定する。
8. 通知 推薦者および推薦を受けた団体・個人すべてに選考結果の通知を送付する。
9. 発表 令和5年2月(予定)に財団ウェブサイトと静岡新聞および静岡放送等で発表する。
10. 表彰 令和5年2月(予定)に表彰式を行う。
賞状、副賞を授与する。

収益事業

A. 図録などの販売

展覧会事業において、展覧会図録、はがき、書籍等の関連商品の販売を行う。

B. その他

希望に応じて所蔵品の貸与、図版の印刷物への提供等を行う。